



Flash News

三重大学

第79号

目次

- 三重県と「医療」分野における連携協定締結
- 朝日大学と包括的連携協定締結
- 国際交流特別講演会
- 院内防災訓練
- 「バールダー」主催の勉強会「自分らしいハッピーキャリアの道しるべ～これから就活するヒトへ～」
- 体育会主催クラブ表彰・新年会
- 「日本とドイツの文学・文化交流」シンポジウム
- 男女共同参画に関する意識調査報告会と講演会・シンポジウム
- 第2回三重大学産学官連携セミナーin伊賀2009
- 平成21年度三重大学ハラスメント相談員等研修
- キャンパス美化活動

三重県と「医療」分野における連携協定締結



内田淳正学長

野呂昭彦三重県知事

1月29日、三重県庁で県内における医療体制の充実に向けて、三重県と標記協定を締結しました。調印式では、内田淳正学長と野呂昭彦三重県知事が協定書に調印しました。三重県の「医療」分野においては、これまでも個別課題で連携してきましたが、この協定により、救急医療体制の整備や地域医療の従事者確保など、より横断的で綿密な連携協力を進めることができるようになります。

朝日大学と包括的連携協定締結

2月3日、三翠会館において、朝日大学と標記協定を締結しました。調印式では、内田淳正学長と大友克之朝日大学長が協定書に調印しました。この協定は、個性豊かで特色ある大学づくり、教育・研究・社会貢献・国際交流の活性化と発展などが、両大学に共通する課題であることから、それぞれの社会的使命を果たすため、互いの自主性と独自性を尊重しつつ、緊密な連携・協力を促進するためのものです。今後、両大学は、共に地域社会の求める人材を養成し、健康で安全な市民生活、学芸、環境および産業の発展向上に貢献するため、取り組んでいきます。



大友克之朝日大学長

内田淳正学長

国際交流特別講演会



2月1日、人文学部校舎において、在ドイツ連邦共和国日本国大使館の神余隆博特命全権大使を迎え、「世界の多極化と日本の進路」と題した標記講演会を開催しました。神余大使より、世界を取り巻く状況、EUやドイツの経済について講演があり、国際政治の研究や国際機関へ就職を目指す学生や教職員等約130名は熱心に聴き入っていました。また、講演に先立ち、三重日独協会との懇談、三重県知事表敬訪問、内田淳正学長をはじめ理事・副学長との懇談なども行われ、ドイツへの関心が一層深まるよい機会となりました。

院内防災訓練

1月18日、附属病院で夜間に病棟から出火したとの想定で、防災訓練を実施しました。エアーストレッチャーや担架を利用して患者役の職員を非常階段から搬送避難し、その必要性を認識しました。その後、北病棟7階から斜行式救助袋で避難訓練を行いました。また、津北消防署から消火器の使用方法について指導があり、実際に職員が体験しました。今回の防災訓練を通じて、災害に対する意識と知識を高めることができました。



パールリーダー主催インクルージョンセミナー「自分らしいハッピーキャリアの道しるべ～これから就活するヒトへ～」



三浦有紀子コーディネーター

1月25日、メディアホールにおいて、科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル事業」の一環として、女性研究者支援室が雇用する女子大学院生の非常勤職員「パールリーダー」が、自らのキャリアを形成する目的で企画・運営した標記セミナーを開催しました。鈴鹿高等専門学校の小川亜希子講師による「未来に続く今日を歩んでいくこと」と、男女共同参画コーディネーターの鈴山雅子客員教授による「三重県の男女共同参画」と題した講演が行われました。その後、ゲストの東京大学先端科学技術センター産学連携コーディネーターの三浦有紀子氏から貴重なコメントをいただきました。

体育会主催クラブ表彰・新年会

1月26日、第2食堂において、体育会主催によるクラブ表彰および新年会が開催されました。野村理事の挨拶の後、東海地区国立大学体育大会で好成績を収めた4クラブに西田泰介体育会執行委員長（工学部3年）より表彰状が授与されました。また、腕相撲など、盛りだくさんのプログラムでクラブ間の交流を深める機会となりました。



「日本とドイツの文学・文化交流」シンポジウム

1月28日、人文学部校舎において、標記シンポジウムを開催しました。本シンポジウムは、日本学術振興会外国人研究者招へいプログラムにより、ベルリンの森鷗外記念館副館長のベアーテ・ヴォンデ氏が来学中であることを受けて企画されました。今年は、鷗外の『舞姫』刊行120周年に当たり、ヴォンデ氏から鷗外のドイツ生活などが紹介されました。引き続き、教育学部の高橋昌子教授と人文学部の大河内朋子教授から、『舞姫』について新しい視点からの解説がありました。



ベアーテ・ヴォンデ副館長

男女共同参画に関する意識調査報告会と講演会・シンポジウム

1月29日、講堂（小ホール）において、標記報告会等を開催しました。後藤正和理事・男女共同参画推進専門委員会委員長による挨拶の後、委員より今年度の委員会活動と昨年8月に実施された「男女共同参画に関する意識調査」の分析結果の報告が行われました。引き続き、(株)東レ経営研究所の渥美由喜氏によるワーク・ライフ・バランスについての講演会「地域活性化策としてのWLB-大学が拠点-」と、渥美氏と若手教員による「三重大学における男女共同参画のこれから」と題したシンポジウムが行われ、参加した約80名の教職員は、熱心に聴き入っていました。

第2回三重大学産学官連携セミナーin伊賀2009

1月29日、伊賀市において、標記セミナーを開催しました。セミナーでは、社会連携研究センターの山本好男准教授より「伊賀研究拠点の活動報告-現地準備事務所から拠点へ」、伊賀研究拠点の加藤進客員教授より「教育は100年の計-出前授業と理科実験にける第二の青春-」、長谷製陶(株)の長谷優磁会長より「エコライフと伊賀焼」と題した講演があり、最後に、生物資源学研究科の田口寛教授より「食と健康」についての退官記念講演が行われました。また、今回初めて、高校生や大学1年生による「上野高校サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト成果発表」と「三重大学PBLセミナー成果発表」が行われました。

平成21年度三重大学ハラスメント相談員等研修

12月16日と2月2日、総合研究棟Ⅱにおいて、各部局等のハラスメント相談員らを対象に標記研修を実施しました。日本産業カウンセラー協会中部支部三重事務所長の太田克子氏を講師に迎え、受講者は「話し方・聴き方」についての講演や演習を受けるなど、ハラスメント相談員として必要な知識、技術の修得に励みました。なお、本研修は全3回にわたり、最終回となる第3回目は3月中に実施する予定です。

キャンパス美化活動

総務部定型業務等運営・支援センターに所属する障がい者とコーディネーターは、学内の環境整備業務を受け持ち、美しいキャンパス造りのために正門付近の花壇の手入れ、構内の除草、落ち葉の清掃、ときにはグラウンドなど課外活動施設周辺に散乱している飲料水の缶、ペットボトル、ビニール袋の分別回収、側溝の清掃等を行っています。また、外周道路周辺の除草、落ち葉等の清掃も実施しています。教育・研究機関にふさわしく、美しいキャンパスを維持するためには、皆様のご協力が必要です。よろしくお願い致します。

